

平成 25 年 9 月 19 日

「創刊 42 号 ほぼ月間太っ腹新聞」 ～いろいろありまして・・・の巻～

読売センター代田橋梅丘 所長 柴田秀昭

皆さん、お久しぶりでございます。どれくらい久しぶりかというと約 7 か月。またさぼってたんじゃないのとの声が聞こえてきますが、いやいろいろありまして・・・実は 8 月 9 日に母がなくなりました。享年 73 歳。体調不調を訴え、病院で検査したところ突然の「胃がん宣告」。その時点でガンは 15cm 以上もあり手術は無理とのこと。あまりに突然すぎてどうしていいのか戸惑うばかり。「ほんとかよ？お前いい加減なこというなよ」と告知した医師の言葉に無言で反論。それが昨年 7 月のこと。その後、通院で抗がん剤治療を 9 か月あまり続けてきましたが、ガン細胞は徐々に大きくなり今年 5 月には胃の出口をふさいでしまうほどの大きさに。転院先の病院でステント治療(金網状の筒をひろげて通り道を確保する治療)をするも食欲は回復せず、一時退院の後、緩和ケア病棟のある病院で最期の時を迎えました。幸い痛みを苦しむこともあまりなく抗がん剤の副作用で抜け落ちた坊主頭で眠るように息を引き取りました。

ご愛読者の皆さんの中にも母のことをご存じの方もいらっしゃるでしょうが、ワタシとうり二つの「太っ腹体型」。病気とは無縁のような「元気な新聞屋の母ちゃん」そのもの。あまりに元気なイメージが強すぎて、四十九日の法要を終えた現在もなんだか信じられない思いです。ただ、言ってみればこれも天命。受け入れるしかありません。後は 83 歳にしてすこぶる元気な父を長寿日本一にすべく、大好きな肉料理を毎日食わす所存です(笑)。まあ 100 歳までは生きそうですな。とりあえず・・・

私自身この 1 年、母の闘病生活に付き合っているいろいろなことを感じ、考えました。ガンという病気のこと、ガン治療のこと、医師や病院のこと、葬儀のこと、家族のこと、人生のこと・・・それだけで本一冊になるんじゃないのと思うくらいですが、この太っ腹新聞は、あくまで「たのしい、くだらない、どうでもいい」話題中心でいきたいと思えます。昨年来母の闘病生活もありすっかりご無沙汰してしまいましたが、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

そういえば通夜の日にはゲリラ豪雨、先日の法要は台風。うちのおふくろはやはり豪快ですな。暑さも盛りを過ぎ秋の訪れ、これからが一番良い季節です。でも時に嵐が来たり突風が吹いたりしたときは新聞屋のでぶっちょ母ちゃんを思い出していただければ幸いです。

さてさて、大きく話題を変えましょう。我が巨人軍は今年も優勝！いやめでたいことです。この調子でクイックスシリーズも日本シリーズも突破し、再び銀座で日本一のパレードだぜ！

そこで今月のプレゼント！今月は

「特製クリアファイル 3 点セット」

中身はいろいろ。ジャイアンツでしょ、ジブリでしょ、ポケモンでしょ、長嶋・松井国民栄誉賞でしょ、まあいろいろです。それぞれ個数が違いますんで何が入っているかはお楽しみってことでお願ひします。「つまり余りものでしょ？」って、それを言っちゃあおしまいでっせダンナ。お申し込みは

電話 3429-3965 (月～土夜 9 時、日・祭日 12 時まで)

お届けは 9 月末予定、なるべく早くにとお願ひしています。それではまた来月！